山麓探偵 通信

11 月号

土山 ゆっくり歩きます。 山にかけての茅場を、 天に恵まれた忍野の鳥居地峠から高座 にく富士山頂は雲に隠れましたが、好 がってから、総勢十五名で出発。あい スズメバチの珍しい行動話などをうか た。当日は、昆虫の林正美先生に、 ロヤマアリやサムライアリ、チャイロ 十月十五日に初冠雪を記録した富 その翌日が探偵団の活動日でし 観察をしながら

までとちがった目が養われていく一日 くなることを繰り返す越冬前のカメム と動き出し、寒くなると隠れて動かな 名の由来、カメムシの数種の生態、 ンタンの鳴声、バッタの耳の位置、 シの行動などを目の当たりにして、今 アキアカネの見分け方、ヨコバイの 呼吸口) など、また、暖かくなる 気 力

御の仕方、体色変化なども、 昆虫の非活動時の天敵に対する防 おどろく

うございました。 ばかりです。 林先生、伊藤カメラマン、ありがと

◇林正美先生のご講評

少しは威嚇してみる、すなわち、五感 番大事なのは自分の目で見る、さわる、 自然の中で生き物に接するとき、

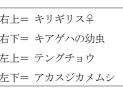
> ことです。 しみをもち, で質感や躍動感を感じとり、 その多様性を知るという 生物に親













また、自然環境のよさや変化は、 単位としての種を認識することです。 しい名を知り、形態情報で分類された って確認できます。 に生息する生き物たちの数や動きによ 基本中の基本は、生物の色・形と正 そこ

◇参加者の感想

・アブラムシが、卵から生まれるので ・生き物たちを、じっくりこころ ・ふだん山中湖に来ると、建物の中 ・アリの引越しだと思っていたもの が、実は奴隷狩りだと知った。 して見るのはおもしろい。 はないことを知った。 は新鮮だった。 モくらいしか見ないので、きょう ではテントウムシ、カメムシ、ク

・ふだんなにげなく歩く場所での新 説明 巣同士のケンカ) に納得。 ・きょうのワクワク感を忘れないよ だったチャイロスズメバチの行動 うにしよう。自分の専門外のこと カメムシの種類の多さに驚いた。 カンタンをはじめて見た。不思議 を知るのは大事なこと。 しい気づきがあった。

サムライアリの奴隷狩りの行動を 生き物たちが住みあっているのを、 打水産卵などの専門用語が初耳で バッタの気門 呼吸口)の逸話に、 楽しい一日だった。 頭の中での変換作業に苦労したが 自分もはっとさせられた。 しばらく観察や描くことを怠って あらためて知った。 はじめて知った。 いると、忘れてしまうので、きょ

参加費 = 一八〇〇円 持ち物 = 昼食 ・マイカップ ・防寒 活動 日=十二月十 一日 保険代を含む) 具・雨具・敷物・任意でストッ 丘セブンイレブン駐車場 ク、双眼鏡など 合=午前九時に山中湖畔旭

木

日

ガイド代、

でに、電話かメールでお願いします。 ◎申し込み •問い合わせは三日前ま

電話 発行 = 山麓探偵団 事務局 山梨県山中湖村平野 〇五五五・六五 七〇二三 一六九八

・生き物たちの暮らし方に、学ぶこ

とが多かった。

うはいい機会だった。

0 お知らせ 0

山と渓谷社より刊行されました。 ひとも、ザックに「冊戸高ワールドを! きを後押しする尸高さん独自の姿勢が ではなく、ひとりひとりにとっての山歩 ハンディな「冊にこめられています。ぜ 価格は1000円プラス税。親子だけ 戸高雅史著はじめよう親子登山」が

第 236 回 探偵団活動」ご案内

自然の中で磨く身体センサー

ピニストの戸高雅史さんが団長です。 感じとる変化を体験してみます。 れる里の森に身を置きくらべ、体が 冬の富士山の森林限界と、水の流 世界最高峰に単独で挑んだ、 アル